

# 事務事業マネジメントシート(令和4年度実績と令和5年度計画)

令和5年9月15日更新

事務事業名		監査計画策定事務					<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合 計画 体系	政策	1	自治の健康			所属部	監査委員事務局	課長名	坂本 強
	施策	2	行政改革の推進			所属課	監査委員事務局	担当者名	宮崎 淳子
	施策の柱	9	評価機能の確保			所属班	監査委員事務局	(内線)	5402
予算科目	会計 一般	款 2	項 6	目 1	事業連番 11179	根拠 法令			
終了、開始年度	<input checked="" type="checkbox"/> 4年度で終了	<input type="checkbox"/> 4年度から開始	事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返	(開始年度 ～ 年度)	18	年度)	

## ★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	年間の各種監査、検査及び審査に共通する基本的な方針（対象、項目、期間等）を計画する。監査を効率的に実施するために年間計画の策定を開始した。
【業務の流れ】	監査計画の作成。監査委員に対する報酬、費用弁償の支給。
【主な予算費目】	報酬、旅費（費用弁償）、需用費（消耗品費）
【意見や要望】	特になし

## 1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標 ①手段(主な活動) 4年度実績(4年度に行った主な活動)(DO) 年間の基本的な方針を計画した。また、監査委員2名に対し、報酬及び費用弁償を支給した。	新規・拡充区分: 5年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 年間の基本的な方針を計画する。また、監査委員3名（議選監査委員交代年のため）に対し、報酬及び費用弁償を支給する。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標) ア)計画した監査事務数 イ)監査委員の出席日数	(単位) 件 日
②対象指標(対象の大きさを表す指標) 監査事務	(単位) 監査委員の出席予定日数 日
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 計画的に実施できる。	(単位) ア)計画的に実施できたと思う監査委員の割合 %
*③成果指標設定の理由と 5年度目標値設定の根拠 監査を計画的に実施できることを目的とし、目標値は100%とした。	総トータルコスト 全体計画 ～ 年度 0

(2)各指標・総事業費の推移			単位	2年度実績(決算)	3年度実績(決算)	4年度目標(当初予算)	4年度実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
① 活動指標	ア)件	イ)日	6	6	6	6	6				
② 対象指標	ア)件	イ)日	123	119	149	149	115				
③ 成果指標	ア)%	イ)	100	100	100	100	100				
事業費	国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 繰入金 一般財源	千円 千円 千円 千円 千円 千円									
	(A)事業費計	千円	1,709	1,670	1,769	1,685					
	(A)のうち指定経費	千円	1,398	1,367	1,398	1,398					
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0					
人件費	正規職員従事人数 延べ業務時間	人 時間	3	3	3	3	210				
	(B)人件費計	千円	709	782	573	799					
	トータルコスト(A)+(B)	千円	2,418	2,452	2,342	2,484					

事務事業名	監査計画策定事務	所属部	監査委員事務局	所属課	監査委員事務局
-------	----------	-----	---------	-----	---------

## 2 評価の部 (C H E C K)

\*原則は 4年度の事後評価、ただし複数年度事業は 4年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 4年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した 計画を策定し、周知を行った。	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 ⇒【対策】
	② 5年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ⇒【対策】 年間計画に基づき、監査事務を計画的に実施する。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ⇒【対策】 計画を策定し周知を行っている現状を維持する。	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ⇒【対策】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 令和5年度から監査事務事業に統合する。	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ⇒【対策】
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 監査を実施するうえで、必要不可欠の経費である。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ⇒【対策】
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 必要最小限で行っているので、削減余地がない。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ⇒【対策】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 監査は、住民の福祉の増進と地方自治の本旨の実現に寄与するものであり、公平・公正である。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ⇒【対策】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 監査委員が実施する監査の計画であり、役割分担は適正である。	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ⇒【対策】

## 3 評価結果の総括 (C H E C K)

監査事務を計画的に実施するため、現状のまま実施する。

## 4 今後の方向性（事務事業担当課案）(A C T I O N)

### (1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可

- 廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善（有効性改善）
- 事業のやり方改善（効率性改善） 事業のやり方改善（公平性改善）
- 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）

### (2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成 果	向上			
	維持		○	△
	低下	△	△	△

### (3) 改革・改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策